

2011 年 8 月 1 日

2011 年 3 月 11 日、M9.0 の巨大地震そしてそれによって引き起こされた大津波が日本を襲い、東北地方に計り知れない甚大な被害をもたらし、2 万人を超える死者・行方不明者を出しました。さらに、被害を被った福島原子力発電所の放射能汚染の問題は日本社会全体に大きな不安を与えています。

震災発生後、Delta Electronics の日本支社（デルタ電子）は社員から 200 万円の義援金を、日本赤十字社を通して寄付いたしました。さらに Delta グループ台湾からの募金総額 3,494,732 台湾ドル（約 1,000 万円相当）は台達電子文教基金会を通じ、「日本震災救援プロジェクト」とし、日本支社と密接に連携をとりながら、被災者の救済および被災地の再建・復興に役立てることにしました。

初めに、支援物資として、毛布、食料品、飲料水等を早急に被災地である岩手・宮城にお届けいたしました。

つぎに、歯科診療台を 6 月中旬に宮城県石巻市北上町総合保健医療センターの北上歯科診療所に、また歯科往診用携帯診療セットを無医村の被災地区用に寄贈いたしました。

さらに、日本支社の社長（柯進興）および社員は 4 月に被災地に赴き、現地の方々のお声を聞きました。そしてデルタグループとして自社の省エネ製品がどのように被災地の再建に貢献できるかについて、石巻市長をはじめ、被災地の代表者と打合せをもち、デルタは文教基金会の義援金を石巻市北上町に役立てることに決定しました。北上中学校の屋上に太陽光発電システム（デルタグループのソーラーモジュールと高効率パワーコンディショナー）を設置予定。当地区に安定した自家発電システムを可能します。また、自社製の LED 電球を北上町の仮設住宅用に提供。省エネ・長寿命・そして環境にやさしい製品で、被災者により快適な生活空間を提供いたします。

支援物資	数量	支援対象	進捗状況
毛布	2,000 枚	岩手県(日本ケミコン経由)	2011. 3. 22 済
食料品、飲料水等	2t トラック 1 台	宮城県気仙沼市災害対策本部	2011. 4. 13 済
LED 電球	1,500 個	宮城県石巻市北上町仮設住宅	2011. 7. 20 済
	500 個	宮城県気仙沼市コミュニティセンター	準備中
プロジェクター 及びスクリーン	3 台(プロジェクター)	宮城県石巻市北上総合支所	2011. 7. 20 済
	2 本 (スクリーン)		
歯科診療台	1 台	宮城県石巻市北上総合保険医療センター —北上歯科診療所	2011. 6. 18 済
歯科往診用携帯 診療セット	1 セット	宮城県石巻市北上町の無医村地区に 歯科往診用として	2011. 6. 18 済
太陽光発電システム	1 式 (200~300 m <sup>2</sup> )	設置場所：宮城県石巻市北上中学校屋上	準備中



写真 1：日本デルタ電子の震災緊急対策チーム。